

授業概要

中学校ならびに高等学校の教育課程について、その意義と目的について理解し、教育課程を編成・実施・評価・改善する（すなわち、カリキュラム・マネジメントの）ための基本的な視点と実践的な力量の基礎を身につけることを目的とする。

第一に、学校の教育課程の基準である学習指導要領の内容について、その歴史的変遷をふまえながら解説する。第二に、教育課程を支える考え方や、関連する基礎的な知識・理論を解説する。

これらをもとに、教育改革の諸動向や地域の実態をふまえ、学校の実情に即した教育課程を編成できるような資質能力の形成を目指す。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション：授業の方法や進め方
第 2 回	教育課程の変遷（1）：戦前期～戦後教育改革
第 3 回	教育課程の変遷（2）：学習指導要領の変遷（1）（1958 年改訂まで）
第 4 回	教育課程の変遷（3）：学習指導要領の変遷（2）（1989 年改訂まで）
第 5 回	教育課程の変遷（4）：学習指導要領の変遷（3）（2003 年一部改正まで）
第 6 回	教育課程の変遷（5）：学習指導要領の変遷（4）（2015 年一部改正まで）
第 7 回	学習指導要領の概要：法的根拠・構成
第 8 回	現行学習指導要領（1）：主な変更点（教科の枠組みを中心に）
第 9 回	現行学習指導要領（2）：総則
第 10 回	現行学習指導要領（3）：特別の教科「道徳」・総合的な学習（探究）の時間・特別活動
第 11 回	小テスト／カリキュラム・マネジメントに向けて（1）：教育課程の構成原理
第 12 回	カリキュラム・マネジメントに向けて（2）：教科書と補助教材
第 13 回	カリキュラム・マネジメントに向けて（3）：指導要録と教育評価
第 14 回	さまざまな教育課程（1）：海外の事例
第 15 回	さまざまな教育課程（2）：日本の事例
第 16 回	定期試験

到達目標

- ・学習指導要領の内容について理解できる。
- ・学校における教育課程の位置付けやその機能的役割について例を挙げて説明できる。
- ・カリキュラム・マネジメントのために必要な基本的な視点を習得できる。

履修上の注意

教職に就く上でこの程度は知っておいてほしい知識というものがある。この科目では、いわば頭の中にそのような知識をプロットする作業を行うことにする。よって、この授業はある程度の「覚える努力」が必要だが、がんばって乗り切っていただきたい。

予習・復習

予習：シラバスに掲げる項目（詳細なものを初回授業時に示す）について、参考文献やインターネットなどで確認しておく。

復習：講義内容を定着させるとともに、各授業時に示す参考文献にもあたってほしい。

評価方法

小テスト（40%）・定期試験（60%）

テキスト

以下の 2 点は、書籍あるいは文部科学省のウェブページ上の PDF ファイルのいずれかの方法で入手すること。

- ・『中学校学習指導要領』（平成 29 年告示）
- ・『高等学校学習指導要領』（平成 30 年告示）